

## 6

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「ここまでのあらずじ」 「自分」は、眠って夢を見ている。夢の中にいる「自分」は、運慶うんけいの評判ひょうぱんを聞き、運慶の仕事しごとぶりを見に行く。

運慶は見物人の評判(注1) いさいとんじやくには委細頓着のみのみなく鑿つちと槌つちを動かしている。いっこう振り向きもしない。高い所に乗って、仁王の顔の辺あたりをしきりに彫り抜いて行く。

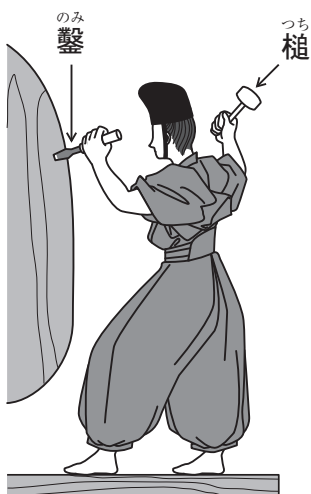
運慶は頭に小さい烏帽子えぼしのようなものに乗せて、素袍すわうだか何だか別わからない大きな袖を背中くで括くっている。その様子がいかにも古くさい。わいわい言ってる見物人とはまるで釣り合いがとれないようである。自分はどうして今時分まで運慶が生きているのかなと思った。どうも不思議(注2)なことがあるものだと考えながら、やはり立って見ていた。

しかし運慶のほうでは不思議(注2)とも奇体きたいともほとんど感じ得ない様子で一生懸命いっしょうけんめいに彫っている。仰あおむ向むいてこの態度を眺めていた一人の若い男が、自分のほうを振り向いて、

「さすがは運慶だな。眼中に我々なしだ。天下の英雄はただ仁王と我とあるのみという態度だ。あっぱれだ」と言いって賞ほめだした。自分はこの言葉を面白いと思った。それでちょっと若い男のほうを見ると、若い男は、すかさず、

「あの鑿(注3) たいじざいと槌(注3) たいじざいの使い方を見たまえ。大自在(注3) だいじざいの妙境(注3) みょうきやうに達している」と言いった。運慶は今太い眉まゆを一寸の高さに横へ彫り抜いて、鑿(注4) たての歯(注4) ばを堅(注4) たいに返すや否いなや斜(注4) しかたに、上から槌を打ち下ろした。堅い木を一刻いこくみに削くって、厚い木屑きくずが槌(注4) たての声に応じて飛んだと思おもったら、小鼻のおっ開いた怒り鼻の側面がたちまち浮き上がってきた。その刀

## 参考



の入れ方がいかにも無遠慮であった。そうして少しも疑念を挟んでおらんように見えた。

「よくああ無造作に鑿を使って、思うような眉や鼻が出来るものだな」と自分はある感心したから独り言のように言った。するとさっきの若い男が、

「なに、あれは眉や鼻を鑿で作るんじゃない。あのとおりの眉や鼻が木の中に埋まっているのを、鑿と槌の力で掘り出すまでだ。まるで土の中から石を掘り出すようなものだから決して間違はずはない」と言った。

自分はこの時はじめて彫刻とはそんなものかと思ひだした。はたしてそうなら誰にでも出来ることだと思ひだした。それで急に自分も仁王が彫つてみたくなつたから見物をやめてさっそく家へ帰つた。

道具箱から鑿と金槌を持ち出して、裏へ出てみると、せんだつての暴風で倒れた檜を、薪にするつもりで、木挽に挽かせた手頃なやつが、たくさん積んであつた。

自分は一番大きいのを選んで、勢いよく彫りはじめてみたが、不幸にして、仁王は見当らなかつた。その次のにも運悪く掘り当ることが出来なかつた。三番目のにも仁王はいなかつた。自分は積んである薪を片っ端から彫つてみたが、どれもこれも仁王を蔵しているのはなかつた。

(夏目漱石「夢十夜」による。)

(注1) 委細頓着なく||細かいことを気にしない。

(注2) 不思議とも奇体とも||不思議であるとも奇妙であるとも。

(注3) 大自在の妙境||少しの束縛もなく、自由な境地。

(注4) 豎に返すや否や斜に||縦に返すとすぐに斜めに。

(注5) 木挽に挽かせた||製材することを仕事にしている人に切らせた。

一 次は、この文章に登場する人物について整理したものです。アからウに当てはまる人物の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

ア	……見物している	イ	から、「天下の英雄」とたたえられている。
イ	……見物しながら、	ア	の技術をほめたたえている。
ウ	……見物しながら、	イ	の話聞き、家に戻って木を彫りはじめる。

- |   |   |    |   |     |   |     |
|---|---|----|---|-----|---|-----|
| 1 | ア | 運慶 | イ | 若い男 | ウ | 自分  |
| 2 | ア | 自分 | イ | 運慶  | ウ | 若い男 |
| 3 | ア | 運慶 | イ | 自分  | ウ | 若い男 |
| 4 | ア | 自分 | イ | 若い男 | ウ | 運慶  |

二 ———線部「どれもこれも仁王を蔵かくしているのはなかった」とありますが、この部分の意味として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 木挽が隠した仁王を見付けられなかった。
- 2 木が堅くて鑿では仁王を掘り出せなかった。
- 3 薪が小さすぎて仁王が入っていなかった。
- 4 仁王を彫刻することはできなかった。